

オプジーボ療法を受けられる方へ

担当薬剤師

科 ID:

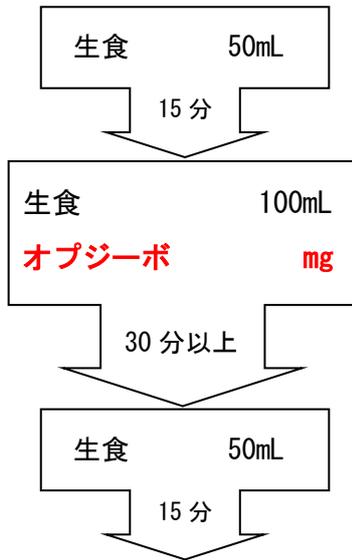
様

【投与スケジュール】

<input type="checkbox"/>		1日目	2～14日目
	オプジーボ (240 mg)	○	
<input type="checkbox"/>		1日目	2～28日目
	オプジーボ (480 mg)	○	

☆2週間又は4週間毎に繰り返し投与します。
☆検査の結果によりスケジュールや投与量が
変わることがあります。

【点滴内容】



オプジーボ：がん細胞の増殖を抑える薬です。



【主な副作用と対策】

インフュージョン・リアクション：オプジーボの点滴を始めてから、発熱・悪寒・吐き気・頭痛・疼痛・痒み・発疹・咳・胸の重苦しさなどのアレルギーに似た症状が起こることがあります。違和感があるようでしたら知らせてください。

アナフィラキシー様症状：お薬を投与することで、アレルギーに似た症状が発現することがあります。息がしにくい、胸が締め付けられる、といった症状がある場合にはすぐに知らせてください。

血管外漏出：針の刺入部の皮膚が赤くなる・腫れる・痛い・熱っぽい・かゆみが出るなどの症状が現れる場合があります。異常を感じたらすぐに知らせてください。

脱毛：ほとんどありません。(1%未満)

間質性肺炎：薬の影響で肺炎が起こることがあります。

咳・発熱・息切れといった症状が続くようでしたら
お知らせください。



甲状腺機能障害：甲状腺機能低下症や甲状腺機能亢進症などがあらわれることがあります。定期的に血液検査を行いますが、動作やししゃべり方が遅い、だるさが続く、汗をかきやすい、体重が減る、動悸、手の震えといった症状があるようでしたらお知らせください。

大腸炎・重度の下痢：腹痛や下痢が長く続いたり、血便やタール便が出るようでしたらお知らせください。

筋肉痛・関節痛：肩や背中、腰、腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなることがあります。

発疹：皮膚が赤くなったり、かゆみが出ることがあります。
ひどい場合には知らせてください。



副腎機能障害：全身がだるくなったり、力が抜けたような感じが続く場合にはお知らせください。

重症筋無力症・筋炎：非常に稀ですが、薬の影響で起こることがあります。上まぶたが下がる、物がだぶって見える、飲み込みにくい、しゃべりにくい、身体に力が入らない、といった症状があるようでしたらお知らせください。

1型糖尿病：非常に稀ですが、薬の影響で糖尿病が発症することがあります。のどの渇き、水を多く飲む、尿の量が増えるといった症状があるようでしたらお知らせください。

腎・肝障害：お薬によって腎臓や肝臓に影響が出る場合があります。

☆製薬メーカー作成のパンフレットも参考にしてください。



副作用の全てが現れるわけではありません。
また、これら以外の副作用が現れる場合もあります。
気になる症状がありましたら必ず医師・薬剤師・看護師にご相談ください。
この説明書はかかりつけ医やかかりつけ薬局薬剤師にもお見せください。



お薬に関する相談先

北信総合病院 (代表)0269-22-2151
薬剤部 医薬品情報管理室 内線 2530

